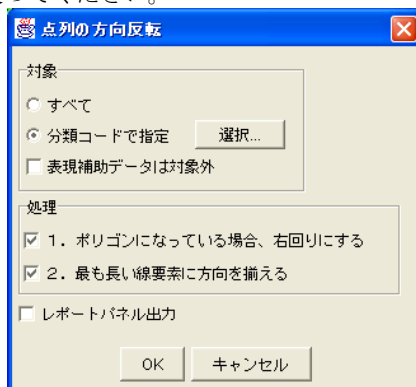


新メニュー[一括処理]-[点列の方向反転]を追加しました。
以下は、操作説明書からの抜粋です。

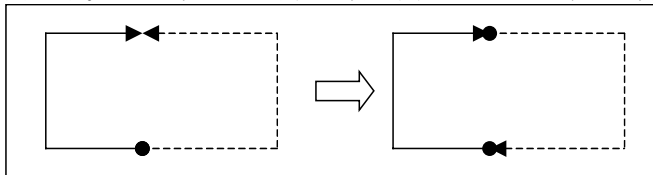
点列の方向反転

面・線要素の点列の取得方向を反転させます。[チェック]-[ネットワークチェック]の[点列の方向が不一致]箇所を修正するための機能です。等高線については、[チェック]-[等高線チェック]の[点列の順序(TIN 参照)]-[点列の順序を反転する]を使ってください。



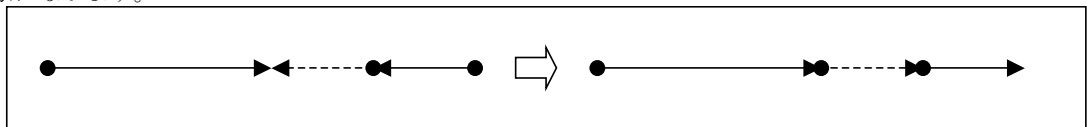
【ポリゴンになっている場合、右回りにする】

面要素あるいは線要素が閉じた図形つまりポリゴンになっている場合、右回りにします。複数の線要素が端点で接している場合も対象です。図形区分および間断区分が異なっても、同一分類コードならば、繋がっているとみなします。



【最も長い線要素に方向を揃える】

線要素が端点で接しているところで、点列の取得方向が異なっている場合、最も長い要素の方向にあわせて、他の要素の方向を揃えます。[ポリゴンになっている場合、右回りにする]が指定されている場合、ポリゴンになっていない組み合わせのみが対象です。[ポリゴンになっている場合、右回りにする]が指定されていない場合、ポリゴンになっている組み合わせも対象になります。



なお、線要素の点列の途中で分岐になっている場合、方向の判定ができないので、[チェックリスト]にリストアップします。分岐点から分岐点あるいは分岐点から端点までの経路が方向を揃える区間としています。

